

## 平成26年度事業報告

平成26年4月1日より平成27年3月31日まで

### 1. 【事業成果】

平成24年度立ち上げた「再生可能エネルギー部会」は、精力的に活動を展開し新規会員も獲得した。また、環境学習センター支援事業として「バスで行く県内の再生可能エネルギー施設見学会」を企画運営できたことも成果であった。また、年度末には新しいホームページを立ち上げ、よりタイムリーに情報発信できる体制ができた。

受託事業である宇都宮市環境学習センターは、指定管理者第2期（26～30年度）の選定を受け、第2期目初年度を終了した。事業内容を充実し広報を強化した結果、利用者は増加してきている。

### 2. 【事業計画と成果】 （細部は別添資料「平成26年度事業実施報告書」を参照）

(1) 各主体の相互交流を図るために必要な情報把握、交換及び提供に係る事業

事業計画	成果
1) ホームページ（U-net）の運営 <b>【運営：情報部会】</b> やや停滞ぎみにあるホームページを活性化し、各主体の環境情報にリンクさせ、情報交流の中心的役割を目指し、内容の充実を図る。さらにメルマガ等を活用し、ホットな情報発信にも努める。	<b>【運営：情報部会】</b> ホームページの活性化は十分に果たせなかった。26年度末にホームページを全面改訂し、情報発信が容易な仕組みをつくることができた。今後、精力的に情報発信につとめたい。メルマガを8件発信した。
2) 会報誌（Eco together）の発行 <b>【運営：情報部会】</b> 特集記事の企画、U-net、他団体と連携した紙面づくりを行い、環境情報の総合的、体系的整備を行い環境活動情報の配信を行なう。平成26年度も写真を多用し、より親しみやすい会報誌づくりに留意する。 発行予定回数：4回（6月、9月、1月、3月）	<b>【運営：情報部会】</b> 会報誌（Eco together）の発行 「環境クイズ」を復活し、写真を多用するとともに、会員も登場する親しみやすい構成とした。 ・発行回数：4回（7月、9月、1月、3月） ・配布先：会員、関係団体、一般  <b>【発行部数 約250部*4回】</b>
3) 環境イベントへの参画 <b>【運営：情報部会】</b> 下記の環境イベントに参加しフォーラムのPRに努める。 ① もったいないフェア（9月予定） 場所：宇都宮城址公園 ② エコもりフェア（10月予定） 場所：栃木県子ども総合科学館 ③ その他環境イベント	<b>【運営：情報部会】</b> ①もったいないフェア2014 9月28日（日）来場者30,000人 ②エコ・もりフェア2014 10月11日（土）来場者7,000人 ③エコテック&ライブとちぎ2014 12月6日（土）～7日（日） 来場者 3,100人 ④環境学習センター「エコまつり2015」 2月27日（金）～3月1日（日） 来場者 3,107人 <b>【来場者合計：約43,000人】</b>

(2) 各主体をつなぐ多様な環境学習の場及び機会の創出に係る事業

事業計画	成果
<p><b>【運営：自然観察部会】</b></p> <p>1) 環境団体との協働で市民が気軽に参加し 楽しく学べる機会の提供</p> <p>①自然体験 ・野鳥観察会（5月・12月） ・星空観察会（1～2月）</p> <p>②環境学習センター事業 「天体望遠鏡づくり講座」、「星空観察会」 の企画運営</p>	<p><b>【運営：自然観察部会】</b></p> <p>① [春の野鳥観察会] (上桑島町) 5月10日(土)18人 場所：鬼怒川緑地公園</p> <p>② [冬の野鳥観察会] 12月6日(土)23人 場所：同上</p> <p>③ [星空観察会] 2月7日(土)64人 場所：環境学習センター</p> <p>④環境学習センター支援事業 ・天体望遠鏡づくり講座 7月27日(日)94人 ・冬の星空観察会 12月13日(土)57人</p> <p style="text-align: right;"><b>【参加者合計：約260人】</b></p>
<p><b>【運営：エコライフ推進部会】</b></p> <p>2) エコライフ推進に関する環境学習の場の提供</p> <p>①新体制での独自活動のあり方検討</p> <p>②環境学習センター事業 「エコライフ関連」の企画運営</p>	<p><b>【運営：エコライフ推進部会】</b></p> <p>① 新体制下で、あり方を検討を進めましたが、 具体的な計画立案には至りませんでした。</p> <p>② 環境学習センター支援事業 ・エコライフの達人 「烏山和紙すき体験と温泉トラフグ施設見学」 10月2日(土)36人 場所：烏山</p> <p>・オドロキの農業見学会 10月25日(土)41人 場所：宇大附属農場、 民間稲作研究所(上三川町)</p> <p style="text-align: right;"><b>【参加者合計：約80人】</b></p>
<p><b>【運営：里山保全部会】</b></p> <p>3) 里山環境の保全と環境学習の場の提供</p> <p>①里山の保全活動 毎月第3日曜日午前中に保全作業を行なう。</p> <p>②環境学習センター事業 「自然体験分野」の支援 及び地域の環境活動支援</p>	<p><b>【運営：里山保全部会】</b></p> <p>① 里山環境の保全…継続活動 (毎月第3日曜日) 場所：みずほの里山保全地 延べ51人</p> <p>②環境学習・環境教育の場の提供</p> <p>・環境学習センター支援事業 「森のなかま」11月23日(日)23人 場所：みずほの里山保全地周辺</p> <p>「落葉さらいと焼いも」12月21日(日)18人 場所：みずほの里山保全地</p> <p>「冬の野鳥観察」1月4日(日)24人 場所：みずほの里山保全地周辺</p> <p>・瑞穂台小学校体験学習 10月10日(金)28人 場所：みずほの里山保全地周辺</p> <p>・親子向け体験講座 「里山と川の野鳥観察」2月1日(日)16人 場所：みずほの里山保全地周辺</p> <p>「落葉さらいと焼いも」2月15日(日)48人 場所：みずほの里山保全地</p> <p style="text-align: right;"><b>【参加者合計：約210人】</b></p>

<p><b>【運営：再生可能エネルギー部会】</b>  4) 栃木の再生可能エネルギー創出の実態・課題・今後の普及可能性等を探る機会の提供。</p> <p>①勉強会・施設見学会・実践者との懇談会等の実施（毎月）</p> <p>②参加メンバーの募集</p> <p>③環境学習センター事業  「栃木の再生可能エネルギー施設見学会」の企画運営</p>	<p><b>【運営：再生可能エネルギー部会】</b>  24年度に新しく立ち上がった部会で、栃木県の再生可能エネルギーの現状と課題把握につとめ、広く市民に情報発信した。</p> <p>①勉強会（講師は交替で部員が担当）を実施。  開催回数 11回/年 延べ 62人</p> <p>②新規会員 2名を獲得</p> <p>③環境学習センター支援事業  ・バスで行く「県内の再生可能エネルギー施設見学会」を企画運営した。  11月19日(水)矢板市寺山ダム他 48人  ・「エコまつり」にブース出展し、再生可能エネルギーの現状と課題を紹介した。50人  他</p> <p style="text-align: right;"><b>【参加者合計：約160人】</b></p>
--	--

(3) テーマに応じた環境の企画・実践に係る事業

事業計画	成果
<p><b>【運営：事務局】</b>  1) 体験・見学等を通して「環境」に気づく機会を提供する。  （主に環境学習センター連携事業）</p>	<p><b>【運営：事務局】</b>  ①足尾植樹体験（環境学習センター支援事業）  バスで足尾に行く 8月2日(土) 47人  ②天日干し（地域活動支援事業）  地元さつきプロジェクトとの共催で、農家の畑をお借りしてお米をつくり収穫祭・自然探検。  5月4日(日)～12月7日(日) 6回 180人  <b>【参加者合計：約230人】</b></p>

(4) 宇都宮市環境学習センター受託事業

事業計画	成果
<p><b>【運営：学習センター事業部】</b>  平成26年度は、指定管理者第2期の初年度にあたる。年間利用者3万人を安定的に確保するとともに、事業の質的向上を図り、さらなる飛躍を狙いたい。宇都宮市の環境学習拠点施設としてさらに認知度を高めるとともに、市民ニーズを的確に把握し、次の各機能を充実させる。また、支持母体であるフォーラムとの事業連携も深めていく。</p>	<p><b>【運営：学習センター事業部】</b>  指定管理者第2期初年度は、事業内容の充実と広報を強化した結果、年間利用者は昨年度の落ち込みから盛り返し、過去最高水準を記録した。  フォーラムとの事業連携も進み、主力事業である環境学習講座の利用者は大幅にのび、利用者全体の34%を占めるまでになった。</p>

<p>1) 環境学習機会提供機能 地球温暖化・再生エネ・省エネなどを重点テーマに講座の充実、他の環境団体との連携による自然体験講座の導入、さらにリサイクル講座も充実する。また、企業・社会人向け見学を拡充し、栃木県最大のごみ発電能力のあるクリーンパーク茂原の学習機会を提供する。</p> <p>2) 活動支援機能 事務局を担当する宇都宮市「こどもエコクラブ」の活性化、自主活動グループの活動支援、また、フォーラム会員へボランティアサポーターとしての参加を働きかける。</p> <p>3) 交流促進機能 自主活動グループ、地元自治会、各種団体、企業等の支援をいただき「エコまつり」を開催し、新しい市民の参加を誘導する。</p> <p>4) 情報提供機能 1 階展示場の改善を進め、再生品提供事業、視聴覚教材、各種環境団体、企業などの情報提供を充実する。</p> <p>5) 体質強化機能 市民サービスを支えるスタッフ資質向上のため教育研修を継続する。</p> <p>6) 市民サービスの向上 フォーラムを含め外部評価を積極的に入手し事業運営に反映する。</p>	<p>1) 環境学習機会提供機能 ・「地球温暖化」を重要テーマに環境大学、講演会、施設見学会等精力的に実施した。 ・「生物多様性」にも着目し、親子の川遊び、渡良瀬遊水地での講義と実践等を行った。 ・企業の見学誘致も実現するなど、一般市民の見学が大幅に増加した。</p> <p>2) 活動支援機能 ・自主活動グループは、「エコまつり」でのワークショップ企画運営等を経験し、力がついてきた。また環境学習センターの大きなイベントでは、フォーラム会員にもスタッフとしてサポートしていただいた。</p> <p>3) 交流促進機能 ・昨年に続き地元宇都宮工業高校と連携、廃棄自転車を利用したマイクロ水力発電装置を製作、釜川に設置、TV 新聞で取上げられた。 ・新しい企画「チャレンジもったいない」を実施、自主活動グループ、地元自治会、各種団体等の支援を得て成功裡に終了した。</p> <p>4) 情報提供機能 ・リサイクルプラザ 5 階に「リサイクル学校」を新設し、ごみ分別の流れを体感できる場を創出した。 ・企業の環境状況報告書の展示を増強し 180 社以上収集更新した。 ・年度末にホームページを全面更新し、情報発信力を強化した。</p> <p>5) 体質強化機能 ・4 月に開設された芳賀地区エコステーションを見学研修し、いくつかの見学案内のノウハウを獲得し、活用した。</p> <p>6) 市民サービスの向上 ・各事業ごとにアンケート調査を実施。また、館内に意見箱を設置し、ニーズ/クレームを継続的に把握し対応した。</p> <p>利用者目標人数 31,000 人 【実績人数：33,644 人（前年度比 108%）】</p>
--	---